

進学資格試験の概要

政治経済学

1. 進学資格試験の目的

博士後期課程において博士学位の取得を目標に研究活動を行うために必要な学力を、修士課程在学中に修得したかどうかをチェックする。

2. 出題範囲

政治経済学の諸分野（資本主義経済の基礎理論、環境の政治経済学、移行経済論・比較経済体制論）に関して、4つないし5つの設問を出題し、そのなかから2問を解答させる。

1. 設問のうち2つは、資本主義経済の基礎理論に関する出題であり、マルクス派経済理論の主要なテーマ（商品、貨幣、資本、剰余価値、労働賃金、資本蓄積、資本の循環・回転、再生産表式、利潤と生産価格、商業資本、利子生み資本と信用、土地所有と地代、諸階級の所得とその源泉）の理解、および、これらのテーマと関連する経済学説史の基礎知識を前提とする。
2. 設問のうち1つないし2つは、環境の政治経済学に関する出題であり、物質代謝論、社会的費用論、権利論、社会的共通資本論の理解を前提とする。
3. 設問のうち1つないし2つは、移行経済論に関する出題であり、社会主義経済論、計画経済論、比較経済体制論、体制移行の経済学に関する知識を前提とする。

3. 合格の目安

- ①政治経済学の諸分野における基礎知識を、論理的に説明する能力
- ②与えられた問題を、適切な分析視角と研究方法に基づいて、論理的に展開する能力
- ③大学院修士課程修了相当の学力水準

4. 出題方法

事前に開示されたリーディングリストを前提として出題し、大学院修士課程修了に相当する基礎知識と理解力、論理展開能力を検証する。

平成 30 年度進学資格試験
政治経済学（リーディングリスト）

平成 30 年度進学資格試験では、下記のリーディングリストの範囲から出題する。

1. A.スミス著『国富論』〔第 1 編・第 2 編〕（水田洋監訳・杉山忠平訳，岩波文庫）
2. K.マルクス著『資本論』（資本論翻訳委員会訳，新日本出版社）
3. V. I.レーニン著『帝国主義論』（宇高基輔訳，岩波文庫）
4. 宇仁宏幸ほか著『入門社会経済学—資本主義を理解する（第 2 版）』ナカニシヤ出版，2010 年。
5. D.K.フォーリー，T.R.マイクル著（佐藤良一・笠松学監訳）『成長と分配』日本経済評論社，2003 年。
6. K. W. Kapp, *The Social Costs of Private Enterprise*, 1950（篠原泰三訳『私的企業と社会的費用』岩波書店，1959 年）。
7. 都留重人著『公害の政治経済学』岩波書店，1972 年。
8. 宇沢弘文著『自動車の社会的費用』岩波書店，1974 年。
9. 宇沢弘文著『宇沢弘文の経済学：社会的共通資本の論理』日本経済新聞出版社，2015 年。
10. 宮本憲一著『環境経済学 新版』岩波書店，2007 年。
11. 宮本憲一著『戦後日本公害史論』岩波書店，2014 年。
12. カール・ウィリアム・カップ著（大森正之訳）『制度派経済学の基礎』出版研，2014 年。
13. ポール・R・グレゴリー，ロバート・C・スチュワート著（吉田靖彦訳）『ロシア及びソ連の経済：実績と構造』（第 7 版），青山社，2002 年。
14. European Bank for Reconstruction and Development (EBRD), *Transition Report 2016-17: Transition for All: Equal Opportunities in an Unequal World*. (downloadable from: <http://www.ebrd.com/transition-report>)
15. E.トッド著（石崎晴己他訳）『新ヨーロッパ大全』藤原書店，1992 年・1993 年。
16. 中兼和津次著『体制移行の政治経済学：なぜ社会主義国は資本主義に向かって脱走するのか』名古屋大学出版会，2010 年。
17. 岩崎一郎編著『比較経済論講義：市場経済化の理論と実証』ミネルヴァ書房，2018 年。
18. 岩崎一郎『法と企業統治の経済分析：ロシア株式会社制度のミクロ実証研究』（一橋大学経済研究叢書）岩波書店，2016 年。
19. スレイマン・I・コーヘン著『国際比較の経済学：グローバル経済の構造と多様性』（溝端佐登史他監訳，比較経済研究会訳）N T T 出版，2012 年。